

令和5年度 いのちの授業 事例集（中学校）【保健体育】

掲載数

26

地区	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 川崎市	中1	保健体育	生殖機能の発達と生命の誕生	思春期に生殖器の発育とともに生殖機能が発達し新しい生命を生み出す力が備わることを理解し、異性の尊重、性に対する適切な態度や行動がとれるようになることをねらいとした。個人差があることなども含め理解を深めていくことができた。	
2 川崎市	中2	保健体育	心肺蘇生法、応急手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本赤十字社の心肺蘇生法（AED）の動画視聴した。心肺蘇生法の実習を行った→人形を使用、グループでchromebookを使用して、振り返りが出来るように胸骨圧迫をしている動画撮影を行った。AED使用方法を教員が実践し、説明した。</li> <li>包帯や三角巾、ハンカチを使用して、直接圧迫止血法、包帯法をグループごとに行った。実習後振り返りシートを記入して個人で振り返った。</li> </ul>	日本赤十字社心肺蘇生方法の動画視聴、包帯三角巾は保健室にあるものを使用した。
3 川崎市	中2	保健体育	3章：傷害の防止（傷害の発生要因、交通事故の発生要因、交通事故の危険予測と回避）	<p>「傷害の発生要因」で、中学生の死亡要因の特徴について確認し、病気や事故死で命を落としてしまっている中学生がいることについて学習した。</p> <p>また、「交通事故の発生要因」と「交通事故の危険予測と回避」では、中学生の自転車乗車中の事故が多いことを確認し、事故を回避するために個人や班で自分たちの通学路で危険な場所を探し、事故防止について話し合った。</p> <p>生徒の活動から自分の住んでいる地域の危険な場所を探し、事故防止の対策やどのような行動をとるべきかを考えるなど、活発な意見交換ができていた。</p>	・保健体育科教員、保健体育教科書
4 相模原市	中1	保健体育	「生殖機能の成熟」「異性の尊重と性情報への対処」	生殖機能の成熟について学習する中で、生命の誕生の過程について触れた。ここにいる全員が今、こうやって元気に自由に生きていられるのは、母胎の中にいるときから大切に、深い愛情を受けて育てられた結果であり、誰に対しても尊重して接する必要があること、安易に性情報を扱わず、「いのち」を育む尊いものであることを考えさせた。	東京書籍 「新しい保健体育」
5 相模原市	中2	保健体育	「がんの予防と早期発見の大切さ、がん患者と共に生きる社会」	がん患者さんを外部講師としてお招きし、がん患者の心情や生活にしての講義をしていただいた。実体験に基づいた話を聞くことで、生徒ががん治療やがん患者さんへの理解を深め、自分たちは何ができるのか、また命と健康の大切さを考えるようにできるようにした。	外部講師をお招きした

6	横須賀市	中複合	保健体育	水難事故防止	横須賀市は海に囲まれた環境で、他の地域に比べ生徒には海が身近な地域となっている。そのため水難事故にあう可能性も高い。中学生にとって身近な話題も取りあげ、夏休みを前に水難事故の危険性について学び、いのちの大切さも合わせて再認識させる機会とした。講演後に書いた感想文では、生徒は海難事故を、自分の身近な事として受け止め、いのちの大切さについて言及する姿勢も見られた。	講師は、ライフセイバー日本代表、世界選手権出場経験をお持ちのライフセイバーの方 1年・2年・3年
7	横須賀市	中1	保健体育	生殖機能の成熟 「胎児を育てる母体の神秘」	生殖機能の成熟として、生命を誕生させるために男女の体つきに変化が起こることを伝えた。その中で、妊娠から出産までの仕組みを伝え、生命が誕生することが奇跡のような出来事であること、新しい命が誕生することの大切さを考えることができた。親から受け取った命を、自分もつなげていきたいと考えている生徒も見られた。	新しい保健体育
8	横須賀市	中2	保健体育	スクール救命教室	横須賀市消防局の方を講師に迎え、心肺蘇生法+AEDについての講義、使い方等の実技を実施した。講師の講話には真剣に耳を傾け、実際に中学生でも救える命があることを学んだ。また、AEDの使い方を学習した後の実技講習では、実際の場面を想像しながら、声を出し、「救いたい」という気持ちを前面に出しながら取り組む姿が見られた。	横須賀市消防局 (参考資料) 〇〇市防災テキスト
9	湘南三浦	中2	保健体育	がんとその予防	日本人の死因の1位はがんであり、日本人のおよそ2人に1人がなる病気であるということから、誰もがなりうる病気であることを学んだ。がんを予防するために生活習慣を整えるには何が大事かを話し合い、家族にも伝えていくことの大切さを理解した。	保健体育教科書
10	湘南三浦	中3	保健体育	性について	「性感染症防止講演会」と題し、性のこと、他者との関り、性交渉、性感染症、新しい命の尊さについて講演会を行った。1人1人が正しい知識を持って判断ができるようになることを目標にした話がされた。どの生徒も真剣に話を聞き、良い雰囲気での講演会となった。	
11	湘南三浦	中1	保健体育	妊娠と出産	思春期の男女の体つきの変化と受精から出産までを取り扱った。具体的で想像しやすい教材を提示した。リュックに7キロの水を入れて、生徒に前面で背負わせ、妊婦体験を行い、妊娠9か月頃の妊婦の生活を体験させた。	1年 保健体育
12	県央	中2	保健体育	心肺蘇生	保健体育科の授業の一環として、消防隊員による救急救命講習を実施。1時間の講義を経て、全生徒が心肺蘇生、AEDの演習を行った。少人数のグループに隊員が1名つくことで、細かな動作がわかり、臨場感のある講習となった。また、実際の災害現場に立ち会った隊員の話聞くことで、「いのち」の儚さと大切さについて真剣に考える機会となった。	・消防隊員による実習 ・保健体育教科書 傷害の防止「応急手当の意義と基本」

13	県央	中2	保健体育	心肺蘇生法・AED使用方法を習得する。	保健分野「傷害の防止」の授業で、けがをした人や病気で倒れた人がいたときに応急手当の仕方を知っていたら、けがの悪化を防いだり、命を救ったりすることができる。自然災害に備えて・応急手当の意義と基本を学習した後に、消防本部より、トレーニング用の器材とAEDを12セット借りて、救命救急普及員の資格を持っている教員が2時間の実習を行った。	消防本部より配付された心肺蘇生法のプリント
14	県央	中2	保健体育	AED講習	厚木市消防本部の消防士さんを講師として招き、基礎講習、心肺蘇生法、AEDの操作を学習し、いざという時に的確な処置を実施できるように取り組んだ。中学生でも、緊急時にいのちを守れる立場にいることを実感させる。	厚木市消防本部 AED講習の冊子
15	県央	中1	保健体育	心身の発達と心の健康	デートDVについて、配付された資料を活用し、自分を大切にすることは相手を大切にすることにつながることを学んだ。受精から出産までの映像を見て感じたことの意見交換をおこなうことで、命の尊さに気づくことができていた。ストレスによる体の不調の映像を見た。ストレスから腹痛が起きる仕組みを実際に学ぶことで、普段の生活を見直すきっかけとなっていた。インターネット依存について依存をしてしまう仕組みを考えた。	体育科教諭
16	県央	中1	保健体育	生殖機能の成熟「受精と妊娠」	思春期の生殖機能の発達から、受精と妊娠の仕組みについて学ぶことにより、自身の生命の誕生の仕組みを知る学習を行った。 また、思春期の身体の変化は新しい生命をつくり出すことができるようになったことを抑え、それまで以上に自身を大切にしていこうという学習を行った。	東京書籍 新しい保健体育 正進社 中学保健学習ノート1～3年
17	県央	中1	保健体育	生殖機能の成熟	1年生保健の授業で、生殖機能の成熟という単元で、男女の生殖器の発達について扱った。受精と妊娠についても扱い、これまで以上に自分を大切にするとともに、異性の体や心について理解し合い、性に関する適切な態度を身につけることを指導した。	
18	県央	中2	保健体育	心肺蘇生法	「友達が体育もしくは部活動中に急に倒れ、声をかけても反応がない」という場面を考えながらあっぱくんを用いて心肺蘇生法を行った。AEDの使用方法も学び、何かあった時に少しでも力になれるよう学習した。	保健体育だけでなく、総合的な学習の時間も使って、学習した。
19	県央	中1	保健体育	心身の機能の発達と心の健康～大切な命	生殖機能の成熟、受精と妊娠について命の誕生までのプロセス知識を深める内容。その中で、命が生まれる神秘さ、不思議さについて考えさせるため、映像を使ったパワーポイント資料を用いた。生徒は、自分自身を振り返ってかけがえのない命であることを実感するとともに、異性への尊重について考えを深めていた。	

20	県央	中2	保健体育	交通安全	交通事故の実態を踏まえながら、事故が発生した際に起こる被害を、過去の例や交通事故啓発動画、CM動画などを見せて子ども達に考えさせた。 とくに動画で、被害にあった子供たちや親や加害者の事故後の様子を見ることで、命の重さや事故により起こり得る負の連鎖を想像させ、命を大切にすることや交通事故防止に繋がられるように授業を行った。	最新中学校保健体育
21	中	中2	保健体育	海における事故の予防	2学年の保健体育「自然災害によるけがの防止」において、実際にあった中学生の海水浴中の事故を題材に、いのちの大切さや、いのちを守るために必要なことを考えた。自然災害など防ぎようのないものは減災のために何ができるか、自分たちの行動の仕方次第で防げるものについては、自他の日常生活を振り返りながら考え、その後の生活につながるように努めた。	
22	中	中1	保健体育	保健編2章3 生殖機能の成熟	二次性徴を迎える思春期において、体の変化について自分の体のこととしてとらえ、性ホルモンの働きによって性機能が成熟し、女子では卵巣（卵子）が成熟し、男子では精巣（精子）が作られること、また月経・射精の仕組みを理解するとともに、そのような現象が起こるのは、次の世代へ命をつないでいくためであることを学習した。特に生命が誕生するのは受精の瞬間であること、受精できるのは数億匹の精子の中でたった1匹であること、母親は約40週間命を大切に育てていることを学習した。スクールタクトを使い課題について記述をさせたが、生徒の反応としては、おおむね真剣に授業に臨んでいて、自分の体の変化や意味について考えることができていた。	パワーポイント・スクールタクトを使用した授業で、受精に関してはYoutube上の動画も視聴した。 (参考動画) Youtube【受精～妊娠】精子と卵子が受精するまでの過程（4分20秒）
23	県西	中1	保健体育	性教育	思春期は、筋肉や骨、体の各器官、そして、生殖器官がめざましく発育・発達することを学習した。そのうえで、個人差はあるが、この時期に男子は精通、女子は初経が起こり、新たな生命を生み出せる体に自分たちが変化していることを理解させた。また、男女の体には違いがあり、異性を尊重することが大切だと伝えた。	教科書
24	県西	中3	保健体育	健康な生活と病気の予防②③	生活習慣病、がん、喫煙、飲酒、薬物乱用、感染症、性感染症とエイズ、健康を守る社会の取り組み、医療機関の利用と医薬品の使用について扱った。	中学保健体育 保健体育ノート
25	県西	中1	保健体育	生殖機能の成熟	思春期の体の変化、月経、射精、妊娠はどんな仕組みで起こるのか理解し、意味について考えた。 身体的な成熟に伴う性的発達への対応、性衝動、異性への関心の高まり、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要になることを考えた。	中学保健体育 保健体育ノート
26	県西	中2	保健体育	傷害の防止 「応急手当の意義と実際」	心肺蘇生法の学習として、バレーボールを人の胸部に見立て、生徒全員が心肺蘇生法を体験した。応急手当では、2人一組になり、お互いの腕に包帯を巻くなど、実践的な取り組みをした。これまでに経験したことがない体験に、試行錯誤しながら取り組む生徒の姿が見られた。生徒は、実際に包帯を巻いたり、心肺蘇生を実践したりすることで、その難しさを実感した。	